

2-1 国づくりへの歩み 巨大古墳と大王

P84～P85

6年 組 番

名前

①【ねらい】古墳の広がりから、3世紀から5世紀ごろの豪族の様子について考える。

②【基本】教科書の地図を見よう。

- ・題を読もう。
- ・赤の点は何だろうか。
- ・古墳の長さが300m以上の記号と、150m～300m未満の記号を確認しよう。

③【ポイント】古墳の分布についてくわしく読み取ろう。

- ・前方後円墳の分布で気づいたことを書こう。

・近畿，関東の北部，瀬戸内海周辺や九州に多い。

・北は東北，南は九州まで広い範囲に分布している。

- ・規模の大きい古墳はどのあたりに多いだろうか。

・今の大阪府と奈良県に多い。

・大和や河内を中心とした近畿地方に集中している。

④古墳が集中している地域があるのはなぜだろうか。

・その地域の豪族たちが力をもっていたから。

・今の奈良県や大阪府の豪族たちが，他の地域の豪族を従えていた。

・連合して大和朝廷という政府を作ったので，ますます古墳が集中した。

- ・埼玉県と熊本県の出土品から，わかることを考えよう。

ヒント：教科書85ページの地図[オ]と写真[カ]，[キ]を見て考えよう。

⑤古墳の広がりについてわかったことを書こう。

(例)

古墳は豪族の墓であり，大きさは勢力の強さを表している。

近畿を中心とした豪族は広く関東や九州の豪族を従えるようになった。